２０２３年４月

【Mother‘s Tree Japan Quarterly Report No.9】

皆様には、新しい年度を迎えて日常生活も大いに前向きな気持ちになられたことと思います。それは約３年続いたコロナ禍が、既にマスクの着用も自主判断となり、５月８日をもって感染症法上もインフルエンザと同等の位置づけに移行されることから、今までの精神的・肉体的なストレスから解放され、いよいよ全国的にもレジャー・娯楽・趣味等の外出を楽しむ雰囲気が高まってきたと実感しております。私たちもこのような環境の大きな変化から、皆さんと力を合わせて、今までの貴重な経験を活かし本格的な対面での各種相談活動やグループ活動に注力していきたいと期待しております。この３か月も大きく前進できましたので、どうぞこのレポートをご覧ください。

理事長　坪野谷雅之

直近の具体的活動状況（1月～3月実績）

１．オンライン母親教室の充実

7言語、毎回平均５名の外国人ママが参加。最近では助産師、保育士に加えて小児科医の先生もボランティアで参加して外国人ママの不安に応えて下さるなど、活動が充実しています。この1年間で延べ４００名近い外国人妊婦さんと子育てママが参加しました。そこからライン相談につながり、継続サポートにつながるといういい流れができています。

2.付き添い事業順調に機能

NPO法人Mother’s Tree Japanらしい、ただ通訳をするのではなく、文化風習、その人の困っていることを丁寧に聞きながらの付き添いがとても充実してきました。長引いたコロナ禍での妊娠や子育てで鬱を患う妊婦さん、文化的齟齬により辛い出産となったママのケア、妊娠糖尿病やマイナートラブルを抱える妊婦さんの立ち合いなどのケースも、メンバーが本当に親身に付き添い、無事に出産までサポートでき、可愛い赤ちゃんが生まれました。

3．対面での母親サロン再開

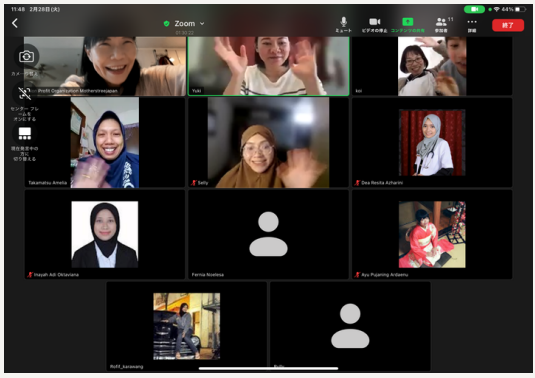
「外国人妊婦のためのストレッチ&呼吸法教室」（3月16日）「インドネシアママのための母親サロン」（2月5日）を開催して多くのママが参加されました。この冬はコロナが再び流行っていたため、12、1、2月の池袋での対面イベントはお休みして、人口密度の少ない移動を心がけながらインドネシアママの集いを八王子で開催するなどの工夫もしました。池袋での母親教室の様子は、NHK WorldのWEBからオンデマンドで観られますので、是非雰囲気を味わってください♪

4.東京芸術劇場とのコラボレーション企画「わたしの子守唄」上映

東京芸大の宮本先生のキュレーションのもとで**当会メンバーの来日への想いやここで子育てをすることを決意した背景、苦労、喜びなどを美しい語りと音楽、幻想的な影絵で表現してくださり、会場では多くの方が涙を流されていました。アートと多文化共生の親和性、神話性を強く実感しました。**

対面の母親サロン

付き添い、寄り添い



オンライン
母親相談会

5．イスラーム・ジェンダー科研主催研究報告会
「在日外国人母子の保健医療」でお話しました

東京医療福祉大学、明治大学、京都大学、東京大学、慶應大学などのイスラム文化研究をされている先生方で構成された報告会に呼んでいただき、活動を紹介しました。とても熱心に耳を傾けてくださり、2023年度はプロジェクトに参画させていただく運びとなりました。東京医療福祉大の細谷先生にはアラビア語の指差しボードの翻訳のご協力をいただいております。

6．山梨県知事政策局 外国人活躍推進グループ主催の研修会でお話ししました

豊島区での連携に着目してくださった山梨県知事政策局 外国人活躍推進グループの担当者が来訪され、情報交換を行いました。そして、グループ主催の外国人親子サポート研修会の第二回で指差しボードを使っての研修を、第３回では私たちの活動をお話しする機会をいただきました。山梨県の多文化共生の取り組みへの意欲は素晴らしく、これからもいい形で連携していけたらと思っています。

7．豊島区での外国人サポートグループ「としまる」主催のシンポジウム

シャンティ国際ボランティア会、東京パブリック弁護士会、豊島区社協が連携してフードサポートをしながら外国人居住者の相談に乗っている「としまる」主催のシンポジウムで取り組みを紹介する機会をいただきました。これからも連携してサポートをしていけたらと思っています。

8．豊島区子ども若者応援プロジェクトで優秀賞受賞しプロジェクトをスタート

３月２６日に「産前産後子育てに役立つ日本語教室」を開始（NINPU 8回、KOSODATE8回予定）しました。冷たい雨にも関わらず、多くの妊産婦、外国人ママが熱心に勉強されました。ご夫婦づれの姿も多く、とても素敵な風景でした。次回は4月23日になります。

9.指差しシリーズ　NICUボード、陣痛カード、妊婦健診ボード完成間近

指差しシリーズは大変好評で、全国の病院や自治体からお問い合わせをいただきます。２０２３年度はこれらの普及に努めるとともに、有効な活用法や「日本語の話せない外国人妊婦は手がかかるのでお断り」という病院が散見する中、その風潮を変えるブレークスルーになるように働きかけていきたいと思っています。

その他

1.今年度各種助成金の認可決定について

令和３年度は「独立行政法人福祉医療機構」（WAM）、令和４年度は「東京都」からの助成対象となり、私たちの基盤づくりが大きく前進しました。今年度は「公益財団法人日本財団」からの助成が認可されましたので、ご報告いたします。メンバー一同頑張って参ります。

2.豊島区など自治体等外部機関との連携活動について

豊島区との連携活動の実績が評価され、いくつかの自治体等からの連携の要請がありました。例えば、「山梨県知事政策局外国人活躍推進グループでのヒアリングと講演、「東京芸術劇場」主催「わたしの子守唄」影絵劇放映にかかるマザーズメンバーの出演支援、「立教大学学部学生研究グループ」でのヒアリング（４回）、イスラーム・ジェンダー科研でのお話など、連携した活動が広がっています。

今年度は、立教大学とのコラボが増える予定もあり、とても楽しみです。

3.「立教セカンドステージ大学社会貢献サポートセンター」の応援研究会発足について

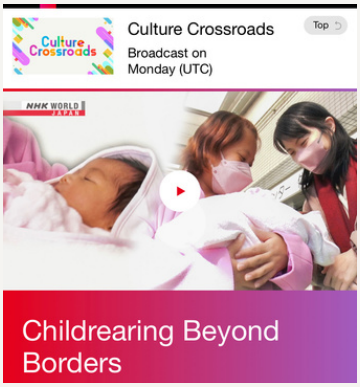
『シニアプロボノ研究会』と称して、マザーズの各種専門的活動（プロボノ）を応援する研究会（約２０名の受講生）が発足しました。様々な分野でのキャリアを積んだメンバーから今後の日常活動の応援をいただけることになり、感謝でいっぱいです。

4.社会貢献見本市に出展

当日は多くの来場者がこられて、NPO法人Mother’s Tree Japanの活動についてもたくさん質問してくださいました。そして、優秀賞「養老乃瀧賞」をいただきました。ご来場ありがとうございました。いただきました賞金は、NPO法人Mother‘s Tree Japanの運営費に使わせていただきます。

プレスリリース

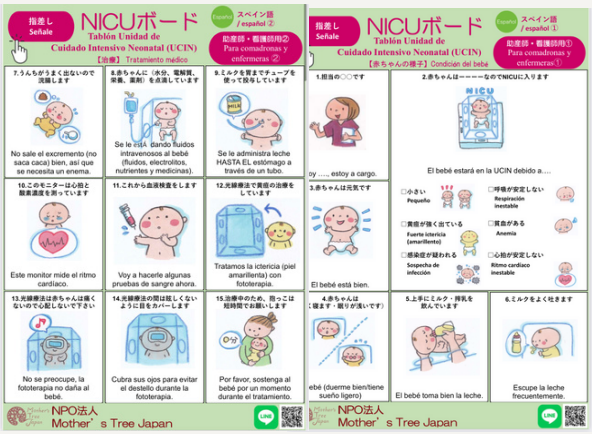
1.昨年１２月３日のNHK放映に続き、「NHKworld」で放映。
　現在は下記のリンクからオンデマンドで視聴可能です。是非ご覧ください。
　別バージョンのものは５月に放映予定です。
　https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/tv/culturecrossroads/
2.東京商工会議所豊島支部発行の小冊子『豊島区で新しい扉を開こう』
3.ピナットの広報誌に掲載
4.自治体国際化協会の機関誌に寄稿
5.朝日新聞掲載予定



妊娠出産子育ての日本語サロン

影絵「わたしの子守唄」

NICUボード



陣痛カード

としま
子ども若者
応援事業コンペ
優秀賞

社会貢献活動
見本市

【今後の活動予定】（４月～６月）

通常業務に加え行政からの委託事業並びに助成金申請書記載の主要事業の概要

1.2023年度豊島区子ども家庭課と子どもの権利グループの委託事業（刊行物、要支援家庭付き添い）

2.「としまモデル」の地方自治体への普及

3.外国人妊産婦に向けた日本での出産の疑問・不安に寄り添う動画制作

4.産前産後、子育てに特化した日本語教室の定期開催

5.3周年記念行事の開催とクラウドファンディング

6.特定認定NPO取得予定

事務局より

　新年度に入りましたね。みなさまお元気でお過ごしでしょうか。
みなさまのご協力・ご尽力のおかげでNPO法人Mother's Tree Japanの活動は大きく広がりを見せ、これまでの事業の継続と新しい事業の拡充のために財政基盤の安定が課題となりました。お蔭様で各方面からの助成金が認められて2023年度も活動を継続できることになり、またRSSCの卒業生の皆様からなる「プロボノ研究会」という運営の強力な助っ人も現れて嬉しい限りです。
　2023年度は、2022年度までに耳を傾け続けてきた外国人妊婦・ママたちの声をナレッジとして他団体と共有したり、「自分たちの文化を大切にしながら日本と言う国を理解しながら、自分らしく生きていく」ことができるようなサポートができたらと思っています。
様々な理解不足や外国人の方への壁を感じて落ち込むこともあります。それでも「どんなに嫌な思いをしても、たった1人でも心から気にかけてくれる人に出会ったら外国人ママたちも日本を好きでいられる」と信じて一人一人に丁寧に寄り添っていけたらと思います。
2023年度もどうぞ応援よろしくお願い申し上げます！